

ゆみこ先生に、2回にわたってお話を伺いました♪
生産者の思いを届ける高校生の手作り新聞をご紹介します。

～思いを馳せる～【前編】

はじめまして。種子島中央高等学校で教員をしています永野と申します。私が担任をした情報処理科3年の生徒3人と作った『たねがしまおいしいもの広場』という新聞作りを通して生徒が身につけた「思いを馳せる」という力についてお伝えしたいと思います。



新聞を作った生徒3人組

私は高校で国語を教えています。生徒たちは授業を通して、新しい知識を得たり、昨日解けなかった問題が解けるようになったりした時、勉強の楽しさを感じてくれます。この喜びは自己成長の喜び、つまり「自分のための喜び」です。それが悪いとは思いません。新たな知識を得るといことは勉強の醍醐味の一つなのです。ですが、今回の活動を通して生徒たちが得た喜びは自己成長の喜びを一步先行く「人のためにしたことが結果として自分たちの喜びになった」という喜びでした。誰かのために、果てしない作業や面倒な作業を楽しみながらする、という働くことの本質を体感したのです。そんな成長を遂げることができたのは生徒たちが「思いを馳せる」という力を身につけたからです。

生徒も私も今までは自分の目の前にあるものだけを見ていました。例えば毎年夏になると島を襲う台風。台風で休校になるとラッキー、くらいに考えていた生徒たち。しかし、島には台風の直撃に備えてビニールハウスの重たいビニールを必死になって外すマンゴー農家さんがいました。塩害で芋が枯れないかと心配して空を見上げる芋農家さんがいました。例えば毎日食卓に並ぶ豊富な食材。食べものはそこにあるのが当たり前でした。しかし、その食材の裏にはそれらを必死で作っている人がいて、それらを作るまでの壮大な物語がありました。取材を終え、私たちは目の前にあるものの先に思いを馳せるようになったのです。このことは私たちの意識を大きく変えるきっかけとなりました。



マンゴー農家・上田さんとお話を伺う

そして生徒たちは種子島だけではなく、日本が、世界が抱える大きな問題にも気づきました。それは私たち消費者が「生きることは食べること」であるのに「生きるための農作物を作っている人たちがいる」という当たり前のことに目を向けず、食べものは無尽蔵にあると勘違いしてしまっているということです。「生きること」と「食べること」が直結し常に食べものに感謝の念を抱いていた時代から、便利な世の中への変遷とともに、スーパーに行けば加工された食べものが豊富に並び、お金をせば食材が手に入るという状況になり、いのちをいただくという意識が次第に希薄なものに。一番の問題は、私たち自身がそれに気づいていない、ということに気づきました。農家さんの思いを伝えることは、人々にその当たり前のことを思い出させる一助となるはずだ、そのために正しく伝えたい、と生徒たちは考えるようになりました。自分たちを取り巻く世界に「思いを馳せる」ようになったのです。



永濱さんの畑で安納芋の収穫体験

生徒たちを突き動かした原動力。それは「使命感」であり、それを支えたのは「思いを馳せる」という力でした。この3人の生徒たちは全員4月から大学生です。きつこの活動を通して身につけた力を活かして「ひと」や「もの」や「世界」に思いを馳せながら多くのことを学んでくれると信じています。

永野 由美子 (鹿児島県立種子島中央高校 国語教員)

種子島に赴任してこの春で4年目。夫は鹿児島市に残り、子ども2人(9歳・6歳)と一緒に「子連れ赴任」中。素直でかわいい生徒たち、とても温かい島の人たちに日々助けられながら楽しく過ごす。人生で体験できることは限りがあるが、本を通して体験することや、想像することはできる。国語を通して、視野の広い多様性を認め合える子どもたちが育ってくれることが理想。



～表紙クイズの答え～ 正解は…霧島連山

鹿児島県と宮崎県の県境付近に広がる火山群で百名山のひとつ。この地域は、多様な自然が残り霧島ジオパークに指定されています。コバルトブルーの火口湖の大浪池をはじめ絶景ポイントも多く、晴れた日は桜島も望めます。初夏を彩るミヤマキリシマは5月～6月に見ごろを迎えます。



© K.P.V.B



百名山の白糸池・六観音池池 (撮影: レダさん)

みなさま、こんにちは!ウィリエ・レダです。2016年より、ATRサポートのため、フランスより来日しました。日々、JACのスタッフとともに安全運航のため、頑張っております。

日本での滞在経験は、20年前に1年間大阪に、そして最近では京都に滞在したことはありましたが、鹿児島は初めてでしたので、どんな所だろうと期待と不安でまじりました。

鹿児島にきて、まず驚いたのは、桜島等の爆発です!私は、ATRやそのほかの航空機のサポートのため、今まで約40ヶ国の海外生活がありますが、火山の爆発は初めての体験でした。

私は自然が大好きなので休みの日には、霧島の山や滝に行ったり、地元の温泉に入ったりして、南九州の自然を満喫しています。いつも週末は、どこかの山を散策していますので、もしかしたらずれているかもしれません!



(撮影: レダさん)

本日はご搭乗いただきまして誠にありがとうございます。ボンボンジャージュ!(良い旅を!)

Réda HUIILLIER レダ・ウィリエ
(ATR 42/72-600 Field Support Representative)

翼さんよりお知らせ

「空の上の航空教室」を楽しみにしてください、ありがとうございます。NO.8「西郷どん奄美に行く」では、一部誤解を招く表現がありましたので、補足説明させていただきます。

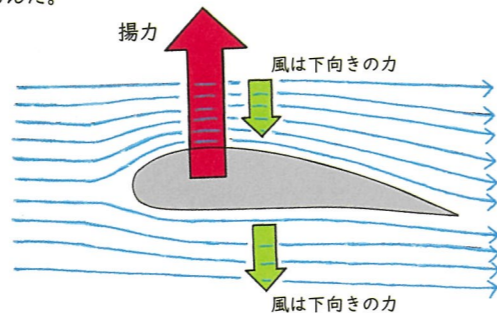


(翼の原理)

飛行機は、翼にはたらく上向きの力(揚力)で空中に浮くことができるんだよ。翼は前方が丸く、後方がとがっている形をしているね。また、後ろのほうが少し下に下がっているよ。

翼の下面にあたった風は下向きに曲げられ、このとき翼から下向きの力を受ける。翼は逆に空気から上向きの力を受けるんだ。翼の上面の風は翼に沿って曲げられ、下向きに流れ、このとき翼は上向きの力を受けるよ。

そのため、下面・上面とも風は下に曲げられ、逆に翼は上向きの力を受けているんだ。



実際には、翼の上面と下面では、風の流れる時間は異なるよ!

以上は、運動量理論による説明ですが、流線曲率の定理を使った説明もあります。

- 参考資料・参考文献
1) 日本機械学会流体工学部門ホームページ『楽しい流れの実験教室 2010年1月号:翼の原理』
http://www.jsme-fed.org/experiment/2010_2/002.html
2) 石橋良三・根本光正著『流れのふしぎ-遊んでわかる流体力学のABC』日本機械学会編、講談社ブルーバックス

『たねがしまおいしいもの広場』第1号は上田さんのマンゴー、第2号は永濱さんの安納芋を特集し、生産者さんの思いやこだわりを丁寧に取材を行い自分たちの言葉で紹介。種子島中央高校ホームページで公開中。本JACNOW～ゆいタイム～Vol.9搭載期間中は機内でもご覧いただけますので、お気軽に客室乗務員までお声がけください。

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

2019春(スミレ)
Vol.9

JAC NOW
～ゆいタイム～



© K.P.V.B

クイズ:ここはどこかな?

お手にとってください、ありがとうございます。

JACの今をお届けしようと、社員手作りの機内情報誌を発行しており、今回、第9回目の発行となりました。お客さまとつながる“結い”の時間を、そして、地域航空として各地域を“結ぶ”情報をお届けしたいという想いを込めて、ゆいタイムと名付けております。みなさまとのまたとない空の上での今日の出逢いを、ゆい“唯”タイムを通じて、優しく心つながる時間としてお過ごしいただきましたら幸いです。

ご意見、ご感想、お気づきの点などございましたら、どうぞお気軽に、客室乗務員までお寄せください。

また、バックナンバー(Vol.1～8)をご覧になりたい方も、どうぞお気軽に客室乗務員までお声掛けください。



みなさまへ

本日もJAC便にご搭乗くださりましてありがとうございます。どうぞごきげんください。

安全統括管理者の西田でございます。今回は安全への取り組みをご紹介します。ただ今お乗りいただいている航空機は、国家資格を持った整備士がしっかりと点検・整備をして完璧なコンディションに仕上げしております。コックピットでは、様々なトラブルを想定した厳しい訓練に合格した運航乗務員が、安全で快適なフライトとなるように、お客さまへの想いを胸に操縦桿を握っています。

またどんな状況でもお客さまを安全に誘導できるように訓練された客室乗務員が、皆さまへ安心と笑顔をお届けしております。

JACでは、社長を委員長とするJAC安全推進委員会を定期的に開催し、社内外の安全に関する情報の共有と問題への対応策を策定しております。

また社外から講師をお招きして安全啓発のための「JAC安全フォーラム」を開催するなど、すべての社員が「尊い命をお預かりする仕事」として「安全最優先」の言葉を心に誓い、業務にあたっています。

どうぞ皆さま、安心して目的地までのフライト、ごゆっくりとお過ごしくださいませ。

安全推進・運航部門担当役員
安全統括管理者

西田 英俊



旅のお土産に。CAおすすめ就航地の逸品を機内で。



JAC客室乗務員の上村です。今日は機内でお楽しみいただいております機内販売についてご紹介いたします。JACでは就航地の客室乗務員おすすめの商品を選定し、機内販売としてお届けしております。2ヶ月に一度、奇数月に新商品になりますので、JAC就航地の特産品を機内販売を通して、どうぞお楽しみください。

日本で初めてATR72-600がJACで就航を開始しました。これを記念し、2種類のFLIGHT TAGキーホルダーをご用意しました。TAGには鮮やかな赤にATRの機体が細やかに刺繍されています。また、裏面には、日本エアコミューターのロゴが入っています。JAC機内限定商品です。



販売価格:各800円(税込)

キーホルダーに関するお問い合わせは(jac.kyakushitsu@jal.com)まで。



←ATR42-600はハイビスカス特別機のデザインです。

販売は現金のみとさせていただきます。クレジットカードは使用できません。天候等の理由でベルトサインが消灯しない場合や在庫切れとなった場合などは、販売を行えないことがありますのであらかじめご了承ください。

翼が上にすると翼の上面は圧縮され、翼の下面は引っ張りを受けるんだ！

機体は細かな振動や大きな温度変化を繰り返して受けているんだ。リベットはこれにより発生する材料の伸縮や振動をうまく伝達してくれるんだよ。

翼の多くはアルミニウムで出来ていて、その特徴から気温の変化で伸びたり縮んだりするんだ！

高度が上がると気温が下がってきよーきたよー。機体の多くはアルミニウムで出来ていて、その特徴から気温の変化で伸びたり縮んだりするんだ！

もし溶接だとひび割れの原因となったり、ボルト付けだと重量が重くなり緩みの原因となるんだ！

高度差

そう思う人も多いよね！じゃあ今日はリベットのの特徴と取り付け原理を説明するね！

打ちまーす！

OK!

JAC

ダダダダダダ

JAC 空の上の航空教室 NO.9 匠の技!

じゃあ次はリベットの取り付けを見てみよう！

これらのフレーム、ストリンガー、外板、そしてリベットの組み合わせで強度を保っているんだ！

大変だな... 熟練された者の作業なんだね！

フレーム

ストリンガー

外板

そうなんだ！なるほどね、リベットにする理由がなんとなく分かったよ！

なにしてるの翼君...？

やあ！リリー！じゃないか！

ブルブル

このリベットを飛行機に取り付けていたんだよ！

へー！そんな作業もするんだ！

飛行機の胴体を修理しているんだよ

ゴメンゴメン！びっくりさせたみたいだね。

ニューマチックハンマー

リベッティング(鉄打ち)

Before

当て盤

After

そうだね！多くの経験が必要なんだ！今からこの工具を使ってリベットをつぶし、板と板を固定していくよ！

ほら、板と板が固定されたよ！

耳栓

あるから大丈夫！

耳栓

ピース

リベット

一般的に部材と部材を結合するもので、航空機では部材同士の固定や修理に使用されている。また、使用場所により、様々な材料や種類がある。

このリベットが胴体や翼などの部分で部材の固定などに使用されているんだよ。大工さんが使用するクギのようなものなんだ！

へー、これがリベットなんだ！自動車のように溶接やボルト付けじゃなかったんだ！

JAC